保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	EWS-CM1B
S/No.	
お買い上げ日	年　月　日 お買い上げ年月日のお届がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	(対象部分:機器本体(消耗部品は除く)) お買い上げの日から1年
お客様 お名前	様
お客様 ご住所	〒 TEL(　　)
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1987-A

わき見・居眠り運転警報器
OKITE オキテ

Yupiteru

EWS-CM1B

取扱説明書

12V/24V車対応

⚠注 意

・本機は、運転者の危険な行為や不注意に起因する事故の回避や安全を保障するものではありません。日頃から安全運転をお心掛けください。
・本機は、運転者の顔の向き角度とまぶたの開閉を検出しブザー音でお知らせする装置です。すべての条件において検出、ブザー音によるお知らせを保証するものではありません。

確認とご注意

安全上のご注意 ……3
使用上のご注意 ……8

基礎知識

各部の名称と働き …… 10
1. 付属品 …… 11
2. 付属品の追加購入について 11
機能について …… 12
1. わき見警報…… 14
2. 居眠り警報…… 15
ブザー音一覧 …… 15
設定について …… 16
メンテナンスについて … 16

取り付け

本機の取り付け …… 17
1. 本機を取り付ける …… 18
2. 電源を接続する…… 21
3. 電源 ON する …… 21
4. 動作確認する…… 22
5. 電源 OFF する …… 22

その他

故障かな？と思ったら … 23
仕　様 …… 25
アフターサービス …… 26
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
⚠警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
⚠注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- 必ず実行していただく「強制」内容です。
- してはいけない「禁止」内容です。
- 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞
- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛P.26「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

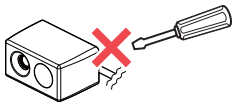
持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

粘着マットの貼り付け位置は、ホコリ・汚れを十分に落としてください。

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⃠ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



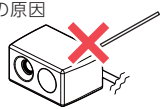
⃠ 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所
- ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⃠ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



⃠ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

⃠ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ 注 意

⃠ 結露したまま使い続けないでください。

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⃠ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

⃠ 極端な高温、低温は避け、動作温度範囲 0℃ ～ +60℃でご使用ください。

⃠ 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。

⃠ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

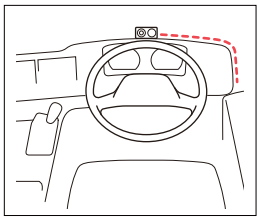
⚠ 本機は精密機械です。

静電気 / 電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠ 警 告

❗ 取り付けは、ダッシュボードの上、またはステアリングコラムカバー周辺に取り付けてください。



❗ 取り付けは、運転や視野の妨げにならない場所、また、自動車の機能 (ブレーキ、ハンドル等) の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⃠ エアバックの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバックで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠ 注 意

❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

● 電源コードについて

⚠警 告

電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格ものと交換してください。

交換ヒューズ 2A
(20mm×5.2mm)

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

● 本機の操作・運転について

⚠警 告

ハンドルのエアバックの動作を妨げる場所に取り付けや配線をしないでください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところに取り付けしないでください。

振動の多いところには取り付けしないでください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠注 意

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

レンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の事故に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本機の取り付けによる車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 電源直結コードに関する注意

・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
・電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ（2A）と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路交通法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。正常に動作しない場合があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・本書に記載のある付属品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 取り扱いに関する注意

・本機は運転者の顔の向き角度と、まぶたの開閉を検出しブザー音でお知らせする装置です。
すべての条件において検出、ブザー音によるお知らせを保証するものではありません。
・装置に頼った運転は行わないでください。
・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようにしてください。
・周辺状況、個人差により検出範囲が低下する場合があります。
・安全運転のために、走行中は本機の位置調整を行わないでください。
・本機は精密電子機器ですから、分解や改造は絶対にしないでください。
・本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
・右左折時や駐車時による顔の動きを検出してブザー音が鳴る場合があります。あらかじめご了承ください。

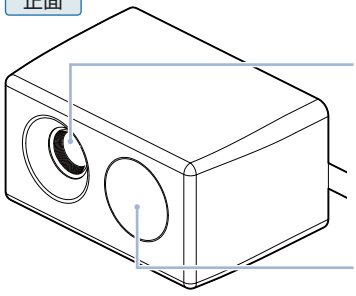
■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げ日から 1 年間の保証がついています。（ただし、電源直結コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。）

各部の名称と働き

■ 本体

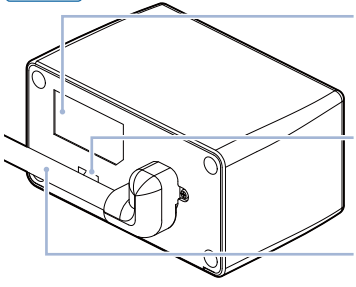
正面



カメラ
顔を検出します。(☛P.12)

赤外線LED
明るさの補正をします。

背面



シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

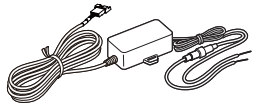
スピーカー
ブザー音が出ます。(☛P.15)

ケーブル(約2m)
付属品の電源直結コードに接続します。(☛P.21)

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ 12V/24V 電源直結コード
(約 2.6 m)



■ 取り付け台座 …… 1
■ 両面テープ …… 2
■ 粘着マット …… 1
■ 粘着シート …… 1
■ 取扱説明書・
保証書(本書) …… 1

2. 付属品の追加購入について

・付属品を追加購入される際は、機種名とともに
「ＸＸ(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

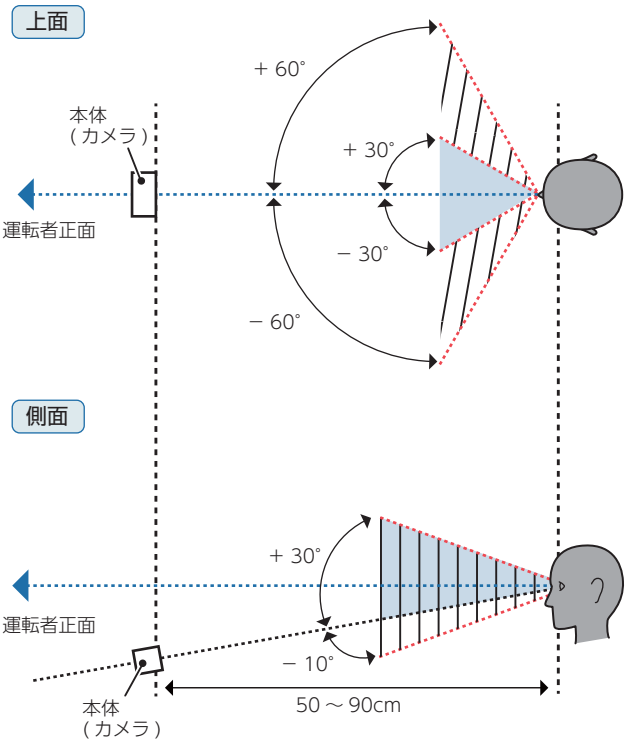
Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

機能について

ダッシュボード上などに設置した本体 (カメラ) で撮影した映像を画像処理し、顔の向き角度とまぶたの開閉を検出し、ブザー音でお知らせする装置です

※ ブザー音によるお知らせのみで、自車の動作 (自動ブレーキなど) とは連動しません。

■ 検出範囲



⚠注 意

- 本機の機能を過信しないでください。すべての条件において検出、ブザー音によるお知らせを保証するものではありません。
- 疲れや眠気を感じたら休憩を取るようにしてください。

項　目	説　明
検出範囲	本体 (カメラ) から見て 距離：50 ～ 90cm 範囲：左右 ± 60° / 上 +30° / 下− 10°
わき見警報範囲 (▨)	わき見検出範囲内 (左右 ± 30~60°、上 +30°、下 − 10°) を約 3 秒以上向き続けた場合、ブザー音でお知らせします。(☛ P.14「わき見警報」)
居眠り警報範囲 (▭)	まぶた検出範囲内 (左右 ± 30°、上 +30°、下 0°) で両目を約 1 秒以上閉じている場合、ブザー音でお知らせします。(☛ P.15「居眠り警報」)

以下の場合、正しく警報できない場合があります。

- 日の出や日没の前後や顔が外光に照らされている場合。
- 視線が下を向いている場合や目を細くしている場合。
- 笑っているときなど、目が小さくなっている場合。
- 近赤外線カットが強いメガネ、特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合。
- レンズに結露がある場合。
- 1 台の車両を複数人で使用する場合。

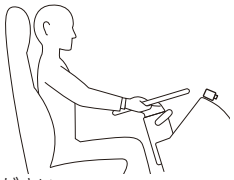
以下の場合、警報できません。

- マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが常に隠れている場合。

■ 顔検出について

運転者と本体の位置関係が正常であるか確認するために、顔検出を自動で行います。

・電源 ON 状態で約1秒間前方を見る



※ 顔検出をする場合は、運転姿勢で行ってください。
※ 顔検出が完了してもブザー音は鳴りません。
※ 本体 (カメラ) を見つめる必要はありません。
※ 本体 (カメラ) に近づくと正しく顔検出できない場合があります。

■ 検出範囲外について

顔検出が約 5 分間されない場合、5 分ごとに『ピピー』とブザー音が鳴ります。ブザー音は 15 分後 (計 3 回) まで鳴りますがそれ以降は鳴りません。本体の向きを調整してください。(☛ P.20)

⚠注 意

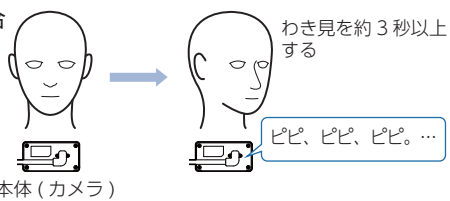
・お知らせするには、電源ON時に顔を認識させる必要があります。毎回必ず顔検出を行ってください。

1. わき見警報

運転中に約 3 秒以上わき見をしている場合に、ブザー音でお知らせします。

※ ブザー音の詳細は ☛ P.15「ブザー音一覧」を参照ください。
※ 正面を向くとブザー音は止まります。
※ わき見警報をしない場合は、本体の向きを調整 (☛ P.20) し、再度顔検出をしてください。(☛「顔検出について」)

・わき見をした場合

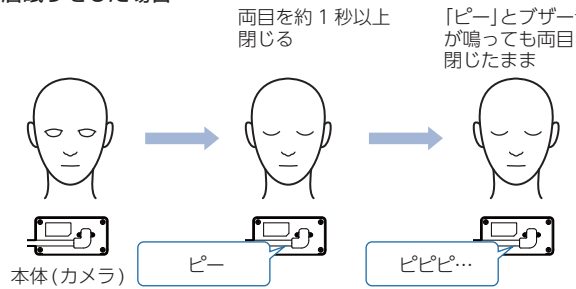


2. 居眠り警報

運転中にまぶたを閉じている (両目を約 1 秒以上閉じている状態) 場合に、ブザー音でお知らせします。

※ ブザー音の詳細は ☛「ブザー音一覧」を参照ください。
※ まぶたを開く (両目を 1 秒以上開ける) とブザー音は止まります。
※ 居眠り警報をしない場合は、本体の向きを調整 (☛ P.20) し、再度顔検出をしてください。(☛ P.14)
※ 片目だけ閉じた状態ではお知らせしません。

・居眠りをした場合



ブザー音一覧

状　態		ブザー音
わき見警報 (約 3 秒以上わき見をした状態)		ピピ、ピピ、ピピ。…
居眠り警報	約 1 秒以上両目を閉じた状態	ピー
	上記後も両目を閉じた状態	ピピピ…
検出範囲外 (P.14)		ピピー

設定について

本機は音量や検出感度を設定することはできません。
あらかじめご了承ください。

メンテナンスについて

■ 必要に応じてメンテナンス

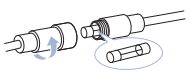
・ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、電源直結コードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。

① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める

※ ヒューズホルダー内にばねが入っています。紛失にご注意ください。



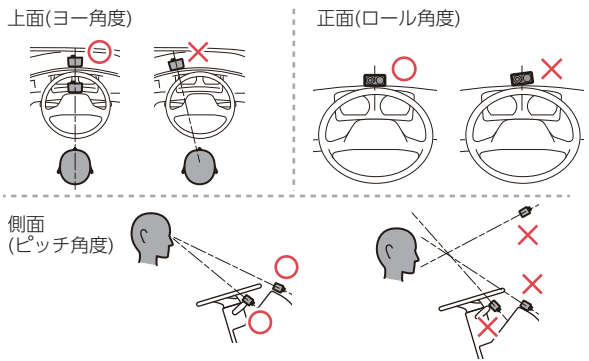
交換用ヒューズ 2A
(20㎜× 5.2㎜)

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

・本体は運転者正面である「ダッシュボードの上 (下図)」に取り付けてください。ダッシュボードの上に取り付けが難しい車両においては、ステアリングコラムカバー周辺で下記条件が成立する範囲に取り付けてください。
①ヨー角度が運転者正面であること。
②ロール角度が運転者水平であること。
③ピッチ角度が運転者を見上げ、運転者の顔を向いていること。
④運転者との顔の距離が、検出範囲内 (50~90cm) にあること。
・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける可能性があります。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続できる位置か確認してから行ってください。

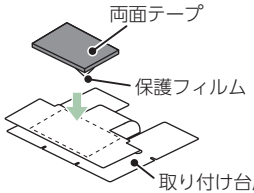


1. 本機を取り付ける

あらかじめ、取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

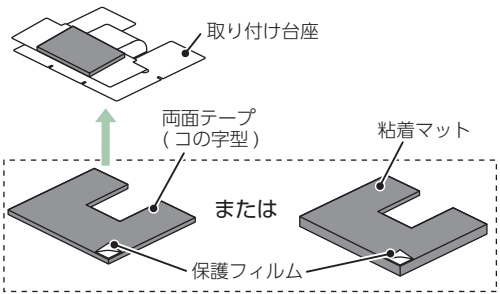
※ 複数の車両で使用する場合は、取り外しのしやすい粘着マットでの取り付けをお勧めします。

1-1 付属品の取り付け台座に両面テープを貼り付ける



保護フィルムをはがして貼り付けてください。

1-2 付属品の取り付け台座に両面テープ (コの字型) または、粘着マットを貼り付ける



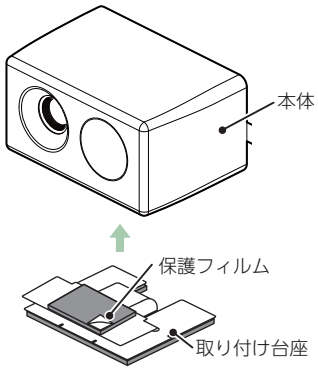
保護フィルムをはがして貼り付けてください。

※ 粘着マットは水洗いできます。ホコリ・汚れなどで粘着力が弱くなった場合は中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

※ 両面テープは水洗いしないでください。

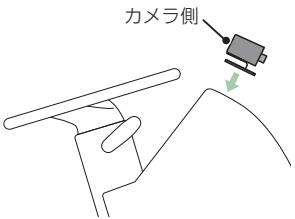
※ 両面テープ (コの字型) または、粘着マットの本体に貼り付けない側の保護フィルムは、はがさないでください。

1-3 付属品の取り付け台座を本体に貼り付ける



保護フィルムをはがして貼り付けてください。

1-4 本体を取り付ける



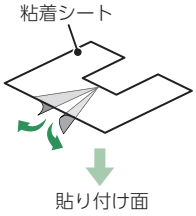
仮で取り付け位置に置き、位置を確認してから両面テープ (コの字型) または、粘着マットの保護フィルムをはがして貼り付けてください。

※ 本体 (カメラ) から運転者の顔まで約 70cm の距離に取り付けてください。(検出距離は 50 ～ 90cm)

粘着シート [特許出願中]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。取り付け面に粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがしても再度貼り付けることができます。

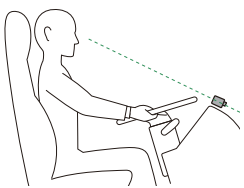
それでも安定した取り付けができない場合は、市販品の強力型両面テープ (厚さ 2㎜以上) を使用し取り付けてください。



■はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ホコリ・汚れを落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- 極端に気温が低い場合、両面テープまたは、粘着マットの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 両面テープの貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。取り付け位置を変更する場合は、同等の両面テープ (市販品) をご用意ください。
- 両面テープまたは、粘着マットの中央部や端部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が取り付け面に貼り付いていないとはがれることがあります。

1-5 本体の向きを調整する



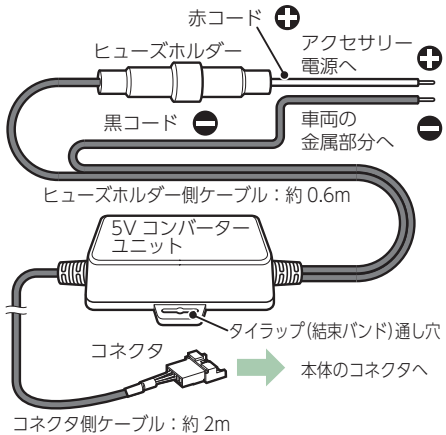
・検出範囲について…
☛ P.12「機能について」

運転姿勢で、本体 (カメラ) が運転者の顔 (両目) の中心にくるように本体を調整してください。

※ 向きの調整は本体ではなく取り付け台座で行ってください。本体で調整すると、両面テープまたは、粘着マットのはがれや、本体が破損することがあります。

2. 電源を接続する

2-1 電源直結コードを接続する



付属品の電源直結コードを本体のコネクタと車両へ接続します。

※ 付属品の電源直結コードをご使用ください。

※ 電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3. 電源 ON する

本機は、エンジンに連動して電源 ON します。

3-1 車両のエンジンを始動する

本体が電源 ON します。

4. 動作確認する

必ず安全な場所に停車してから行ってください。走行中に行うと交通事故やケガの原因になります。

4-1 顔検出 (☛ P.14) 後に、わき見警報 (☛ P.14)・居眠り警報 (☛ P.15) を確認する

※ お知らせしない場合は、本体の向きを調整 (☛ P.20) し、再度顔検出をしてください。(☛ P.14)

5. 電源 OFF する

本機は、エンジンに連動して電源 OFF します。

5-1 車両のエンジンを切る

本体が電源 OFF します。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

お知らせしない

- ☐ **顔検出はできていますか。**
  顔検出ができていない場合、お知らせできません。電源 ON 時に、運転姿勢で約 1 秒間前方を見た後に顔を左右どちらかに動かしてわき見警報するか確認してください。(☛P.21)
- ☐ **検出範囲内に本体を取り付けていますか。(☛P.12)**
- ☐ **片目だけ閉じていませんか。**
  居眠り警報は両目を約 1 秒以上閉じている状態でお知らせします。(☛P.15)
- ☐ **メガネやサングラスをかけていませんか。**
  近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合は、居眠り警報ができない場合があります。
- ☐ **マスク、眼帯などしていませんか。**
  目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると、警報できません。
- ☐ **本体のカメラに結露はありませんか。**
  本体のカメラに結露があると、検出できない場合があります。水滴が付いた場合は、拭き取ってください。
- ☐ **1 台の車両を複数人で使用していませんか。**
  運転手が代わる場合はその都度、本体の向きを調整 (☛P.20) し、顔検出を行ってください。(☛P.14)
- ☐ **わき見している時間が短くありませんでしたか。**
  わき見警報は、わき見を約 3 秒以上している状態でお知らせします。(☛P.14)

電源が入らない

□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

ヒューズホルダーを矢印の方向に回しヒューズを取り出します。

交換用ヒューズ 2A
(20 ㎜ ×5.2 ㎜)

誤報が多い

□ 検出範囲内に本体を取り付けていますか。(☛P.12)

□ 笑っていませんか。
笑っているときなど、目が小さくなっているのを検出してしまう場合があります。

□ 右左折時や駐車時による顔の動きを検出してブザー音が鳴る場合があります。あらかじめご了承ください。

仕　様

電源電圧	本体：DC5V	付属品の 12V/24V 電源直結コード ：DC5V 出力 (DC12V/24V マイナスアース車用)
消費電流	350mA 以下	
検出範囲 (本体(カメラ)から見て)	距離：50~90cm 範囲：左右 ± 60˚ / 上 +30˚ / 下 −10˚	
動作温度範囲	0℃～ +60℃	
外形寸法	60(W) × 31(H) × 39(D)mm(突起部除く)	
重量	約 140g (ケーブル含む)	

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

アフターサービス

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日
（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ　フリーコール 0120-998-036

MEMO